

---

## Dear my father 2

めい

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

Dear my father 2

### 【コード】

N5338C

### 【作者名】

めい

### 【あらすじ】

短編・完結のつもりで書いた、Dear my father…。続編・Dear my father 2出ちゃいました。ぜひ1から、お読み下さいませ〜m(ー) m

ST: 『歩く障害物』

父は普通に歩けない。

歩き方自体も変だが、すぐ何かにぶちあたる。

一人ほつとくと、後ろの方で“ドンガラガッシャー”という音がする。

歩きもしない動きもしない扇風機に体当たりして、分解してしまつた音だ。まさに、父は歩く障害物である。母が行く方向行く方向に、わざとなのか偶然なのか、壁を作つて邪魔をし、母が『邪魔（-;-）！』と怒れば、『おとんとおかんは、S極とN極（^O^）』とか言つちやつてるし…。おばか…（^|^-;）  
父ほどプラス思考で歩く障害物な人間は、そうそう居ないだろう。

ST: 『アイラブトーク』

私が仕事を始めてから、なかなか家族全員で夕飯をとるのは難しくなつたが、今でも、たま〜に食べられることがある。

そんな時、一つの話題で皆ワーワー盛り上がるのだが、ひとりポツンとウズウズせきばらいなんかをしながら、腕組をして前のめりになり、少し揺れながら、ムズムズしてる人がいる。

それは…父だ（笑）皆が少しでも黙つたら、会話に入ろうと構えてはいるが…黙らない。

そんな状況に我慢できなくなつてきて、『そう、』と前置きの会話を始めようとすると、誰も聞いてない（笑）聞いてはいるのかもしれないが、皆わざと聞かない（笑）その状態が、おかしくてたまらなく、私なんか吹き出してしまふ。

それをタイミングだと思つたおバカな父が、会話を無理矢理始め出

すのだ。

『そう、あのねえ、』物事を深く考えたり、倫理だてたり、原因を妄想したりするのが大好きな父は、お話が大好きなのだ。もはや相手が聞いてるかどうかは関係ない。喋ればいいのだ。百も承知な家族みんな、さらっと流す。だが、たまに、それ(父の熱い話)によって、被害に合う人たちがいる。来客だ。みんな、気を遣って、父の真面目な、所により専門的で妄想的話に必死に耳を傾ける。『うん、うん、』言いながら、なんか辛そう(笑)流しや良いのに…と、思いながらも、聞いてくれる人がたまにでも居て良かったね〜と思わずにはいられない。来客のみなさま、ありがとうございます。

ST: 『1通のメール』

ある日、1通のメールが届いた。

父から『定期に付ける伸びるやつ無くなった( ; ; )』と言う内容だった。

「伸びるやつ」とは、恐らく、ストラップかなんかの伸縮するやつだろうと思われた。もちろん、知るわけはなく、『知らないよ』と返した。その後『お父の伸びるやつ、とった( ; ; )』というメールがきた。いやいやいや( ; ; )被害妄想はやめてくれ。『知らないってば』と返し、またしばらくして、『カバンの中に、あった( ^o^ )』とメール。おい、あるじゃんか( ; ; )そんな父に『アロエヨーグルト買わないと、許さない』とメール。すぐに『分かった( ^o^ )』。もはや、父と会話してるのか…子供と会話してるのか…たまに分からなくなる今日この頃だ。(笑)

ST: 『結婚相手』

普段は照れ臭くて、死んでも言えないが…私の理想の結婚相手は、

父のような人だ。

おおらかで、愛情豊かで、子供のように可愛い父。実はかなり頭も良い情報処理師だったりする。そんな父を、家族みんな尊敬している。ただ、みんな素直になれなくて、面白半分、ついつい、いぢめてしまう（笑）いつもニコニコニコニコ幸せそうな父を見ると、こっちまで笑ってしまう。そんな父、私の理想の結婚相手。

(後書き)

今後の小説に役立てたいので、良かったら、評価・感想お願いします  
す m ( ) m

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5338c/>

---

Dear my father 2

2010年12月30日02時29分発行